

ヨウシュヤマゴボウ（洋種山牛蒡）

^{なまえ} ^{い み}
名前の意味：西洋からやってきたヤマゴボウの意味。ヤマゴボウは
^{ごぼう}
山に生える牛蒡のような根を持つ植物の意味

^{ぶんるい} ^{そうしやうるい}
分類：双子葉類、ヤマゴボウ科、ヤマゴボウ属

^{さいばいしよくぶつ}
（ヤマゴボウ科の栽培植物：なし）

^す ^{ばしよ} ^{へり} ^{みちばた}
好きな場所：林の縁、道端、空き地

^{ぶんぶ}
分布：北海道、本州、四国、九州

^{げんさんち}
原産地：北アメリカ

^{とくちやう} ^{くき} ^ほ
特徴：みずみずしい茎と葉、穂になる白い花、ブドウのような実

^{しゅし} ^{はこ}
種子の運ばれかた：鳥に食べられて運ばれる

^{かべん} ^{かず} ^{りべん}
花弁の数：離弁、5枚

^{はな} ^{じき}
花の時期：5—10月

^た ^{かた} ^{どく} ^{ぜったい}
食べ方：死ぬこともある毒があるので絶対に食べてはいけない。

^み ^わ ^{かた} ^に
見分け方：似たものはない。

^み
見つけやすさ ★★

^み ^わ
見分けやすさ ★

^{そう} ^{ごう} ^{なんいど}
総合難易度 ★★

（★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い）